

デジタルアーカイブ成功への道！

パートナーへの委託時にはらむリスクと
パートナー選定で押さえたいポイントを解説！

株式会社ニチマイ

本書について

組織の資料や写真などをデジタル化し、目的に応じた方法で公開するデジタルアーカイブ。

貴重な資料を保管できるだけでなく、Web上への公開や館内・組織内共有などにより、資料のさらなる利活用も進められることから、多くの機関や団体、企業で取り組みが進められています。

デジタルアーカイブには複数の工程があるほか、技術的な知識や専門設備なども求められるため、自館・自組織ですべてを対応できないケースも多いです。そのようなとき、専門であるパートナーに委託することを考えるのではないのでしょうか。

しかし、デジタルアーカイブを成功させるためには、パートナーに委託する際にも注意したいリスクがあります。

本書では、デジタルアーカイブの委託時にはらむリスクとは何か、そして、リスクを回避するためのパートナー選定のポイントについて解説します。

もくじ

| | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | デジタルアーカイブを委託する際に注意したいリスク | 3 |
| | リスク①「デジタル化の対象資料が劣化・損傷してしまう」 | 4 |
| | リスク②「デジタル化した資料の利活用が進まない」 | 5 |
| 2 | パートナー選定時の確認ポイント | 6 |
| | 確認ポイント①「支援実績とデジタル化・保管体制」 | 7 |
| | 確認ポイント②「サービスの対応範囲」 | 8 |
| 3 | まとめ | 9 |
| 4 | デジタルアーカイブなら、ニチマイの「デジアカ」 | 10 |
| | 「デジアカ」の概要 | 11 |
| | 特長「豊富な実績とワンストップでの支援」 | 12 |
| | 導入事例 東京音楽大学付属図書館さま | 13 |
| 5 | 会社概要 企業情報 | 14 |
| 6 | お問い合わせ | 15 |



1

デジタルアーカイブを委託する際に 注意したいリスク

デジタルアーカイブ構築には、対象となる資料の保管や修復、デジタル化、デジタル保管、アーカイブシステムの選定とデータ入力、利活用（Web公開など）など、複数の工程があります。

自館・自社で対応できない部分はパートナーへの委託が考えられますが、委託するにあたってどのようなリスクがあるかを把握しておくことも重要です。

本章では、具体的なリスクを紹介します。

「デジタル化の対象資料が劣化・損傷してしまう」

1つ目に挙げられるのは、資料の取り扱いを誤ると資料の劣化を進行させたり、損傷させてしまうことです。
とくに資料が古い場合は注意が必要です。

01

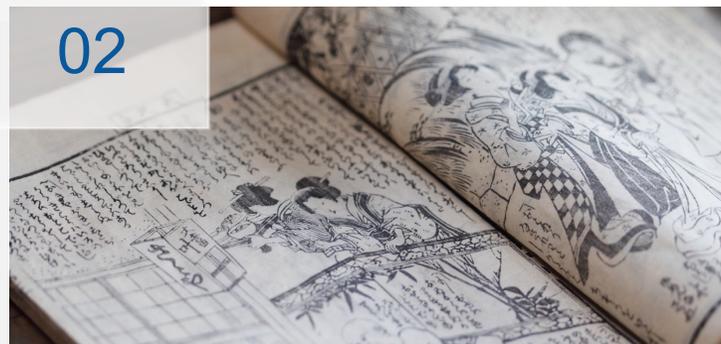


物理的接触による折れ・破れ

主な原因

運搬や開閉、接触型スキャナーの利用など

02



悪条件での保管による変色・カビ

主な原因

紙や写真の保管に適していない温度や湿度、紫外線など

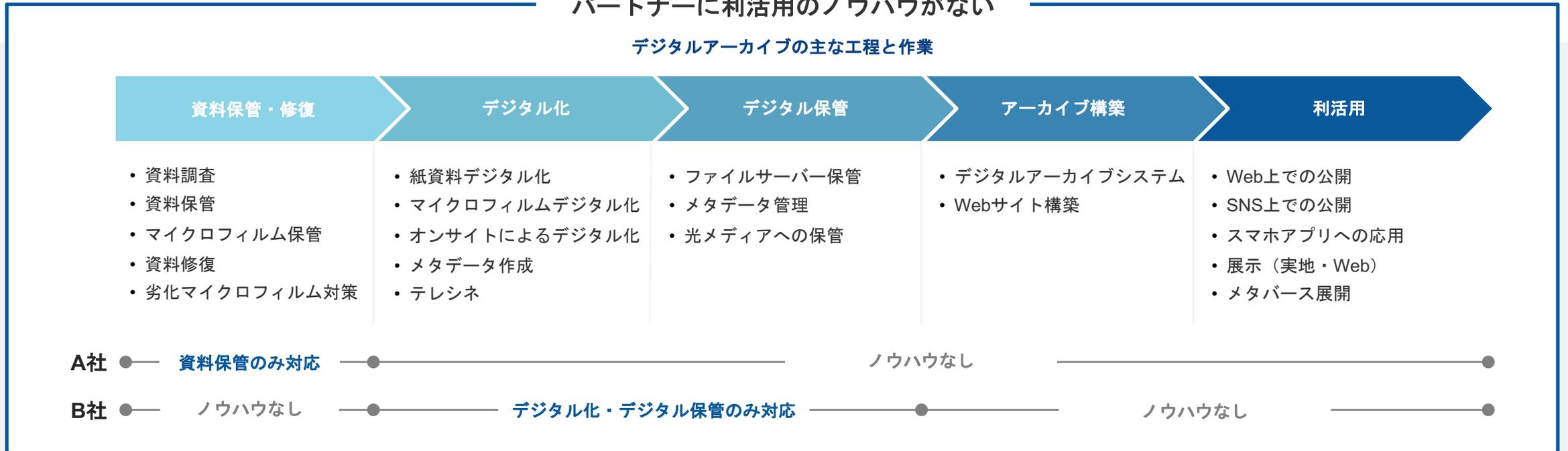
「デジタル化した資料の利活用が進まない」

2つ目は、デジタル化したものの資料の利活用まで進まないことです。

資料の利活用と言っても、組織によってその目的や手段はさまざまなため、それらに応じた運用設計が必要と言えます。

パートナーに利活用のノウハウがない

デジタルアーカイブの主な工程と作業



パートナーによっては、資料のデジタル化だけ、保管だけなど、対象のサポートが利活用にまで及ばない場合があります。

最終的にどう利活用していくのか、その目的を視野に入れたデジタル化を実施しなければ、単なる文書のデジタル化にとどまってしまう。

A close-up photograph of two hands shaking in a firm grip, symbolizing a business agreement or partnership. The hands are wearing white dress shirts and dark suits. The background is slightly blurred, showing other people in business attire.

2

パートナー選定時の確認ポイント

デジタルアーカイブを成功させるには、委託するパートナーの選定が大切です。
パートナー選定のポイントは、次の2つです。

- ・ 支援実績とデジタル化・資料保管体制
- ・ サービスの対応範囲

本章ではこの2つのポイントについて詳しく解説します。

「支援実績とデジタル化・資料保管体制」

デジタルアーカイブ化には、貴重資料を託せる相手かどうかを見きわめることが重要です。

信頼できるパートナーかどうかを見きわめるには、次の2つを確認しましょう。

支援実績

- ・ 運営年数 事故や問題がない、持続的支援の裏付け
- ・ 支援社数 多くの依頼を受けている、信頼性の裏付け
- ・ 支援先の業種 自組織と近い業種がある場合、
自組織の課題解決も対応できる可能性が高い
- ・ 支援事例 自組織の課題・目的に近い支援経験がある場合、
自組織の課題解決も対応できる可能性が高い
など

デジタル化・資料保管体制

- ・ 専門設備（非接触のスキャナー、専用の
保管庫など）の有無 デジタル化・保管
工程の品質を担保
- ・ 資格（文書情報管理士、デジタルアーキ
ビスト など）を有する専門家の人数 作業全体の品質を
担保
- ・ 品質管理に関する認証（ISO9001） 作業全体の品質を
担保
など

「サービスの対応範囲」

デジタルアーカイブを依頼する際は、なるべく一社に任せられると安心です。

以下に注目して、サービスの対応範囲を確認しましょう。

01



デジタル化だけでなく
利活用にも対応しているか

02



資料調査～利活用まで
一気通貫でサービス提供しているか

3

まとめ

デジタルアーカイブの意義は、貴重な資料の保存だけではありません。資料の価値はもとより、組織のさらなる価値向上にもつながる重要な取り組みです。複数の工程があり、専門の知識も求められることから、すべてを自館・自組織のみで対応するのは難しいでしょう。

しかし、パートナーに委託する際にも注意したいリスクは存在します。パートナーの選定時には、「実績とデジタル化・保管体制」と「サービスの対応範囲」の2つのポイントを押さえて、デジタルアーカイブの成功につなげましょう。



4

デジタルアーカイブなら ニチマイの「デジアカ」

パートナーの選定で以下のようなお悩みを持つ方に向けて
「デジアカ」をご紹介します。

- ・ 自館・自組織に適切なパートナーを判断できず
どこに依頼したらよいのかわからない
- ・ すべての工程を依頼したいが、ワンストップで担ってくれる
パートナーが見つからない

「デジアカ」の概要

「デジアカ」は、資料のデジタル化からデータ公開までを支援する株式会社ニチマイのデジタルアーカイブサービス。
熟練の技術スタッフが高性能スキャナーや高画質デジタルカメラなどを使用し所蔵資料や貴重書のデジタル化を支援します。

品質マネジメント
システム



ISO9001

情報セキュリティ
マネジメントシステム



ISO27001

個人情報保護



10820109

デジタルアーカイブ支援に関する各種認証も取得しており、安心してお任せいただけます。



「豊富な実績とワンストップでの支援」

創業から70年、文書情報マネジメントのサポート企業として支援を続けてきたニチマイはその歴史に裏付けされた実力と確かな品質で、お客さまのデジタルアーカイブを総合支援いたします。

豊富な支援実績



貴重資料をはじめとした歴史的・文化的価値のある資料を後世に伝える責務を負う組織のみなさまにご利用いただいております。

[支援内容の詳細はこちら](#)

ご利用いただいている組織の例

図書館、中央官公庁、地方自治体、国公立大学校、研究機関
新聞社、民間企業

など

デジタルアーカイブを ワンストップで支援



保存・修復措置から、デジタル化、データ公開までのワンストップ支援で、効果的な資料の利活用を実現します。

支援可能な工程

資料調査・修復・保管、資料のデジタル化、資料のデジタル保管、デジタルアーカイブシステム、利活用

など

寄贈を受けた自筆譜・自筆原稿をデジタル化、 デジタルアーカイブサイトで公開！！

東京音楽大学附属図書館 さま



場所 : 東京都

東京音楽大学池袋キャンパス (東京音楽大学提供)

デジタルアーカイブ構築の背景

寄贈を受けた自筆譜・原稿などの資料の活用とインターネット公開のため、デジタル化とデジタルアーカイブサイト構築を検討

「デジアカ」導入の決め手

デジタル画像化からデジタルアーカイブサイトの構築まで一体化して行うことができる



導入後の効果

- 資料の閲覧が容易になった
- 所蔵資料の周知につながった



企業情報

| | |
|-------|---|
| 会社名 |  株式会社ニチマイ (旧社名：日本マイクロ写真株式会社) (英語名：Nichimy Corporation) |
| 代表者名 | 廣岡 潤 |
| 事業内容 | 媒体変換サービス、マイクロフィルム出版、資料保存関連機材など製品の企画開発、文書管理コンサルティング、米国事務所を拠点とした海外資料調査および資料収集代行など |
| 創立年月日 | 1950年6月1日 |
| 設立年月日 | 1951年2月1日 |
| 本社所在地 | 〒134-0083 東京都江戸川区中葛西4-19-14 |
| 米国事務所 | 9658 Baltimore Avenue, Suite 300, College Park, MD 20740 |
| 所属団体 | 公益社団法人日本文書情報マネジメント協会 日本イメージ情報業連合会 関東イメージ情報業連合会 東京商工会議所 一般社団法人日本経営協会 |



ニチマイは豊富な実績と高い技術力で
デジタルアーカイブを一気通貫で実現します。
ご質問・ご相談はお気軽にご連絡ください。



お電話でのお問い合わせ

0120-588349



フォームでのお問い合わせ

<https://digiaka.nichimy.co.jp/contact>



WebサイトURL

<https://digiaka.nichimy.co.jp/>